

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		男女共同参画推進懇話会運営事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務部	課長名	財津公正	
	施策	23	人権が尊重される社会づくり				所属課	総務課	担当者名	森田健二 猿渡祥子	
	基本事業	78	男女共同参画推進活動の実践				所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217	
予算科目		会計一般	款2	項1	目15	事業連番10913	法令根拠	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例			
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			
								成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・啓発資料、啓発講座の検討、男女共同参画推進及び苦情処理・相談の協議等を行う ・男女共同参画推進懇話会は、旧町時代にも設置されており、それを踏まえ平成18年6月1日に合志市男女共同参画推進懇話会として設置された。 ・合志市男女共同参画推進懇話会要綱から合志市男女共同参画まちづくり条例(H19.11.1施行)に根拠法令が移行した。 ・平成26年6月から第5期懇話会での活動を実施している。(17名)
【業務の流れ】	①文書送付、②会議実施、③議題に沿って協議(啓発講座・資料の検討等)、④閉会、⑤報酬・費用弁償の支払い、⑥市ホームページに会議録を公表
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	懇話会委員より会議が啓発講座や啓発誌「いっぽ」の検討等、啓発に関する事項が多いので、出前講座等、各地域においての男女共同参画の活動を推進したい。との意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO) 合志市男女共同参画気づきうなずきフェスティバルの主催、啓発資料「いっぽ」の内容検討、男女共同参画の課題協議などを行った。会議を年間7回開催した。市民に対する啓発に努めた。		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同様。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ア 会議数	回	報酬、費用弁償の増
⇒イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
男女共同参画推進懇話会	⇒ア 団体数	⇒イ 団体
⇒イ		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
目的に沿って運営できる。	⇒ア 目的に沿って開催できなかった会議の割合	⇒イ 件
⇒イ		
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～年度
懇話会が目的に沿って運営できることがこの事業の意図であるため、目的に沿って開催できなかった会議の件数を成果指標に設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	484	449	621	525	709	621	621
	人 件 費	(A)事業費計	千円	484	449	621	525	709	621	621
		(A)のうち指定経費	千円	304	282	390	307	445	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	5	4	4	4	4	4
	トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	314	334	400	327	400	400	0
		(B)人件費計	千円	1,278	1,330	1,593	1,302	1,593	1,593	0
			千円	1,762	1,779	2,214	1,827	2,302	2,214	621

事務事業名	男女共同参画推進懇話会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 男女共同参画の本質的な部分の協議する機会を設け、市民の視点による男女共同参画のまちづくりを推進することで目標が達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 懇話会委員が研修会に参加し、男女共同参画についての知識を更に得ることで、委員の認識、行動力等を向上させることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似団体はないので、他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 委員の数、会議回数を減らす。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 懇話会委員の人数、会議回数を減らせば、その分の事業費が減る。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 懇話会委員の一部は、一般公募により募集しており、公平・公正である。また、懇話会で検討した内容は、合志市主催のイベントや合志市発行の啓発資料に反映されるので、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 合志市男女共同参画まちづくり条例で市民の視点で男女共同参画まちづくりを推進するために懇話会を設置することになっているので適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

懇話会の会議を7回開催し、懇話会委員としてフェスティバルへの協力をしていただいた。会議がイベントや啓発資料の内容検討が主だったので、男女共同参画の本質的な問題を協議する場がなかったので、今後、その点を取り上げていく必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												